

深い緑に囲まれたグラウンドに、一際目立つラグビーのゴール。そのグラウンド上には、短い昼休みを利用して基礎練習に励むラグビー部員の姿があった。ウォーミングアップや走り込みながらのパス、地道な基礎練習を繰り返していた。薬学部単体で唯一「関東医歯薬ラグビーリーグ」に出場し、昨年の第53回関東医歯薬ラグビーリーグでは、悲願であった4部Aから3部への昇格を果たした東京薬科大学。今回、新緑まぶしい大学を訪ね、ラグビー部のメンバーに話を聞いた。

昨年のリーグは6勝1敗の戦績

関東医歯薬ラグビーリーグは、関東ラグビーフットボール協会の傘下にある。関東地方およびその近県にある医歯薬系大学・学部24校が加盟しており、1部、2部、3部、4部A、4部Bの4リーグ5ブロックで構成されている。4部リーグでは全試合終了後に、ブロックの1位と2位が襷がけて対戦し、勝ち残ったチームが昇格をかけた試合に出場することができる。

東京薬大ラグビー部は、2001年までは1部リーグに所属していたものの、入れ替え戦で敗北を喫してしまったため降格となった。その後、2部リーグでは5位、3部リーグでは6位と、坂道を転げ落ちるようにランクを落としていった。



3部リーグ入れ替え戦進出をかけた防衛医大戦

悲願の3部リーグ昇格果たす

東京薬科大学ラグビー部



2005年ラグビー部集合写真

**僕たちの青春
薬大のクラブ活動**

しかし、第52回関東医歯薬ラグビーリーグでは4勝1敗で1位となり、襷がけ戦でも防衛大学校を下して、入れ替え戦に臨むこととなった。昇格をかけた大事な一戦では、埼玉医科大学に阻まれ残留という結果に終わった。3部昇格を目標としていたため、この結果には非常に悔しい思いをしたという。

をしたという。

不調が続いたラグビー部だったが、昨年のチームは一味違った。2005年・第53回大会の戦績は6勝1敗。帝京大学戦は42対0で圧勝、杏林大学戦も26対14で勝利、神奈川歯科大学戦は5対10で惜敗したもの、明海大学歯学部戦は69対0で圧勝、最後の日本大学歯学部戦も34対12で勝利を飾った。

入れ替え戦出場をかけた防衛医科大学校戦も61対26で勝利、さらに3部昇格をかけた埼玉医大との一戦も52対0で圧勝し、1年前の雪辱を果たした。他大学に比べ体格は小さいが、「しっかり守って、最後まで走る。そして点を取る」というシンプルだが最も有効な戦略が、最後の勝利をおさめる決め手となった。

昨年のリーグ戦で唯一の黒星を喫した相手が、10月16日に行われた神奈川歯大で、強くないという前評判があったとい

う。だが蓋を開けてみると、前半に東薬大が先制点を取得したが、後半に神奈川歯大の巻き返しに合い、5対10で惜敗した。

敗れて身に付けた途切れない集中力

弱いという噂に惑わされて気がゆるみ、あと一步のところまで点差を縮められなかった。まさに油断大敵という言葉通りの結果となった。しかし、この敗戦の経験が、それ以降の試合で大いに役立ったという。

というのも、神奈川歯大戦以外には、特に競った試合がなかったからだ。「負けはしたが、競った試合を経験したことで、(つらい試合状況でも)負けない集中力を身に付けることができた」と話している。平常心で試合に臨み、練習の成果を存分に発揮できることが重要だと強調する。

今年の第54回大会では、昨年のレベルを維持しつつ、さらに実力アップを図り、2部昇格を目指している。7月まではタックルやパスなどの基本練習を中心に行い、8月の合宿からは実践的な練習を織り交ぜて、9月からスタートするリーグ戦に備える。

最後までしっかり守り通し、走り続けて点をとる。そのためにはチームワークが最も重要なファクターだ。ラグビーで培ったチームプレイの大切さを、将来ぜひ医療現場でも生かしてもらいたい。

薬学生新聞からのお知らせ

◆情報提供のお願い

薬事日報・薬学生新聞は薬学教育、国家試験をめぐる動き、薬科大学における教育改革への取り組み、様々な行事・イベント、サークル活動やキャンパスの紹介などに加え、就職関連情報や薬学生に知ってほしい薬業界の重要ニュース

などを盛り込んで編集しています。

薬学生新聞では薬科大学・薬学部の様々な動向を、できるだけ多く紙面で紹介していきたいと考えております。掲載あるいは取材してほしい情報がございましたら、ご一報いただければ幸いです。

◆「薬学生記者」の募集

薬学生新聞は、薬学生記者を募集しています。

文化祭、体育祭、講演会をはじめ、キャンパス内で行われる様々なイベントのレポート、あるいは学生や教職員を対象とした意識調査の結果などを、薬学生新聞の紙面で発表してみませんか。テーマは問いません。クラブ活動等の一環として実施したことでも結構です。採用者には原稿料を支払います。

希望者は、①記事として掲載した

いテーマ②原稿として仕上げられる時期③氏名④大学名及び学年⑤連絡先・電話番号——を明記の上、薬事日報社編集局「薬学生新聞担当」まで、Eメールにてご連絡ください。

◆連絡先

全ての連絡は、以下までお願いします。

E.Mail yakugakusei@yakuji.co.jp
TEL 03-3862-2141(代表)



薬学生のソーシャルネットワーキング

www.canpass.net

医療系ブログを見なきゃ!

もっとひろがる きっとみつかる **キャンパス*ネット**

薬学生の役立つ情報満載!!

リニューアルして
さらにパワーアップ!

無料 就職情報
会社説明会情報
学校別掲示板
ブログ(日記) etc.



キャンパス*ネットは(株)グッピーズにより運営されています。
キャンパス*ネット 東京都新宿区西新宿1-13-12 西新宿昭和ビル5階 TEL:03-5908-3880 FAX:03-5908-3881 e-mail:info@canpass.net